

# 平成19年度 三番瀬自然環境合同調査 報告書



平成20年2月  
千葉県環境生活部自然保護課

## はじめに

三番瀬は、浦安市、市川市、船橋市、習志野市の東京湾沿いに広がる約 1,800 ヘクタールの干潟・浅海域（浅い海）です。

江戸時代から豊穡の海といわれてきた三番瀬は、人々の生活とともに、その歴史を歩んできましたが、高度経済成長の中で、東京湾の多くの干潟や浅瀬が埋立てられたなか、残された貴重な空間となっており、千葉県では、地域住民・NPO、漁業者、地元市などの皆さんと一緒に自然環境の保全と再生に取り組んでいます。

そして、千葉県では三番瀬再生事業の一環として、平成 17 年度から三番瀬自然環境合同調査を実施しています。これは、三番瀬の自然環境を皆さんに調査していただき、三番瀬への理解をより一層深めていただくとするものです。さらに、調査結果の考察等を通して、専門知識、科学的思考を身につけることができます。

平成 19 年度につきましては、17、18 年度に引き続き、参加者の皆さんと一緒に底生生物を対象として調査を実施し、また、事前勉強会や考察会、事後勉強会を行い、この報告書を作成しました。

この 1 回の調査結果は、三番瀬のごく一部分の、一時期の状況を表しているに過ぎませんが、こうした調査を通して、一見単調な環境に見える干潟、浅海域にも様々な生物が生息しており、しかもそれらが環境条件の違いに応じて生活している様子の一端を知ることができるでしょう。

さて、千葉県では、現在、本県の豊かな生物多様性の保全・再生とその持続可能な利用等について、多様な主体による取組の基本的な方向と具体的な取組を示した「生物多様性ちば県戦略」を策定しております。その中でも、県民・NPOの方々などと連携してモニタリングを行うことが重要であると考えており、今回の調査をモデルケースとして、このようなモニタリング調査が様々な地域で進んでいくことを期待しています。

最後になりますが、この調査の実施に当たって、浦安市郷土博物館、市川市自然博物館、市川市、千葉工業大学、千葉県立中央博物館の皆様にも多大な協力をいただきましたことを、この場を借りて感謝申し上げます。

平成 20 年 2 月

千葉県環境生活部自然保護課長 庄司 英実